

農業後継者育成基金事業

令和4年度 農高・農大就農促進対策事業（農高就農促進対策助成）

事業主体名 鹿児島県立市来農芸高等学校

1 目的

本校生徒が農業に対して興味・関心をより一層深め、農業関係機関・団体との連携を促進し、農業先進地視察を通して、広い視野と知識を身につけ、将来の農業後継者としてふさわしい人間を育成し、農村社会を支える人材の確保を目的とする。

2 実施状況

(1) 1年生先進地視察研修

本県における農業の実態や農政の現状を学習し将来新規就農者及び地域産業の担い手を育成するために、JA さつま日置北中部営農センター、鹿児島県立農業大学校、片平観光農園の施設を見学し、農業に関する知識を深めるとともに就農に対する意識が向上した。



片平観光農園（イチゴ栽培）

(2) 2年生先進地視察研修

一年次の専門教科の実験・実習などの学習成果を踏まえ各学科での視察研修を行った。

農業科では、小松菜専門農家、（有）はぎいわ農園、（有）竹之内観光農園で栽培技術等について学ぶことができた。



（有）はぎいわ農園（ブドウ観光農園）

畜産科では鹿児島県肉用牛改良研究所や（株）だいちで種雄牛の改良や飼育技術、畜産経営等について学ぶことができた。



鹿児島県肉用牛改良研究所

各学科専門的農家や企業を視察することにより、高度な知識や技術を高め、日頃の授業や実習に活かすことができ進路実現に役立っている。

(3) 営農の門出を励ます会

農業大学校4名、大学校3名、農業関連企業への就職10名の計17名を対象に実施した。市長を始め、来賓の方々より激励のことばを頂き、生徒たちは決意を新たにしました。

3 今後の課題、取り組み

本校は、在校生の約9割程度が非農家の生徒であるが、日頃の専門教科の学習や地域連携活動の成果もあり、入学してから農業に対して興味・関心が高まる生徒が多い。今後も生徒のニーズを踏まえた専門性の高い学習を取り入れて、生徒の進路実現に資する研修とした。



営農の門出を励ます会